

Step3 - 2 段目

2 段目を揃えます。

フィンガートリックが大活躍するステップです。もう完璧でしょうか。

手に馴染んでいないという場合は、十分におさらいしておきましょう。

このステップのGOALを確認しておきます。かなり揃ってきましたね。

実は、この後の3 段目ではひたすら手順を使うだけの作業が続きます。

3 段目に入る前のこのステップ、ちょっと手ごわいですがじっくりと読み進めてみてください。

説明が必要以上に長い可能性があります。

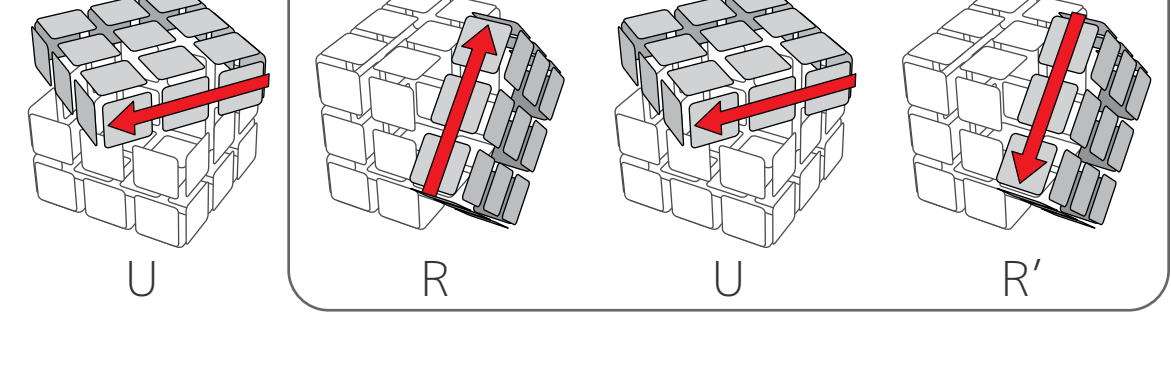
手順の習得は後にして、まずはイラストに沿って動かしてみるのもいいですね。

フィンガートリック +1 手

フィンガートリック +1 手と言えば、完全一面を作るときに使った右トリガー +[U'] がそうですね。

このステップで使う手順は 8 手あります。なんの準備も無しにこれを感じるのは少ししんどいでしょう。

そこで、右トリガーに 1 手足したもうひとつの手順を覚えて頂くことにします。



右トリガー

ポイントは、1 手 +3 手の区切りを意識することです。

1 手回して、指の位置を整え右トリガー。

この感覚を覚えておきましょう。

http://youtu.be/3wt_TNd1l

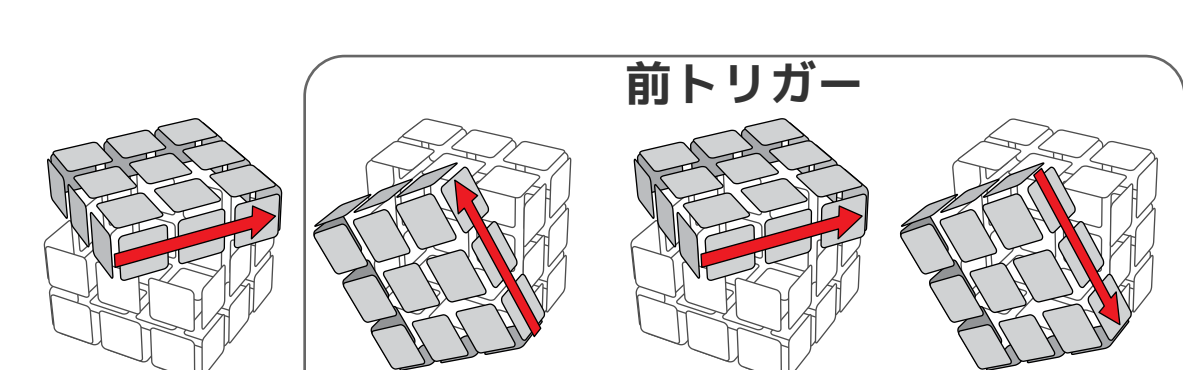
ちなみにこの 4 手を 5 回繰り返すと、キューブは元に戻ります。

ここで手に馴染ませておけば、読み進めるのが楽になるはずです。

鏡のように左手で

8 手の手順の紹介はまだ先です。もうひとつ、フィンガートリック +1 手の手順を覚えて頂きましょう。

今回は前トリガーを使います。



前トリガー

キューブの向きを少し変えて、右の面が手前になるようにすると回しやすいでしょう。

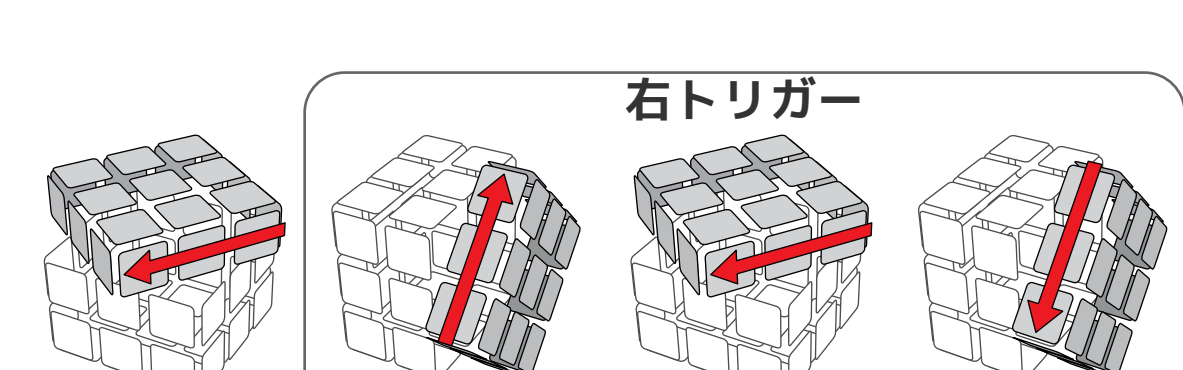
ただし、いま回しているのは前面です。左面ではありません。回し終えたら、必ず向きを戻しましょう。

じっくりくるまで、最低 20 回は練習することをおすすめします。

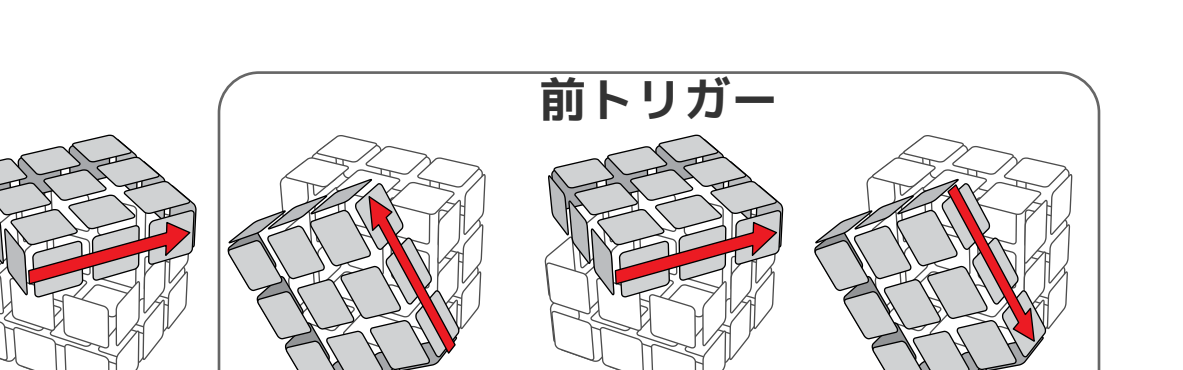
手順の紹介

いよいよ 8 手の手順の紹介です。

前項、前々項で紹介した 4 手の手順を組み合わせると、その 8 手の手順になるわけです。



右トリガー



前トリガー

どうでしょうか。フィンガートリックをマスターした皆さんなら、暗記するのも簡単でしょう。

しかしこれをどう使うのが気になります。暗記するのはまた今度にしておきましょうか。

失敗から学ぶ

表題の通り、今からある失敗をお見せします。

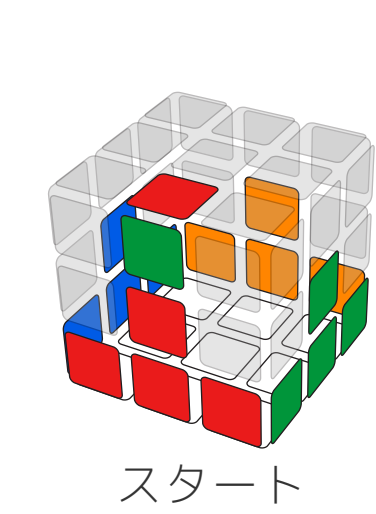
実は、8 手の手順にはバリエーションがあるので。ご安心ください。2 種類だけです。

バリエーションの紹介は次項以降に置いておいて、ひとまず、手順の使いどころを紹介しておきましょう。

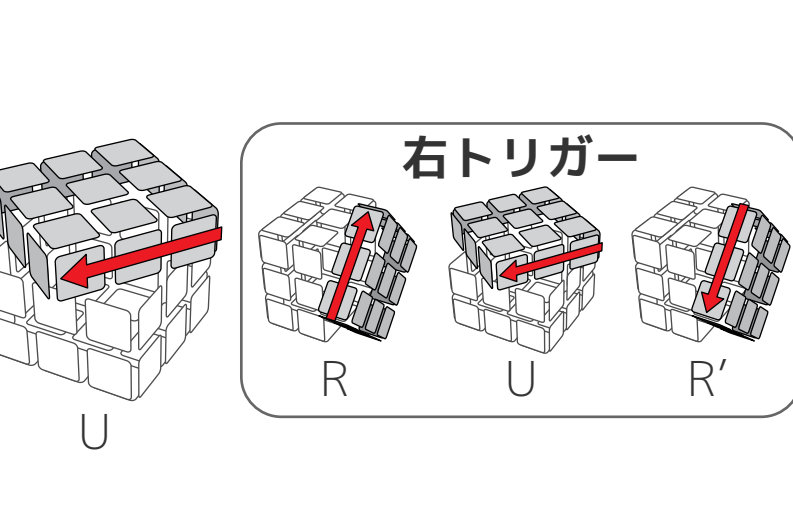
この手順を使うと、**3 段目にある 2 色パーツを 2 段目にズドンと落とす**ことができます。

とりあえず、赤 - 緑の 2 色パーツを落としてみましょう。

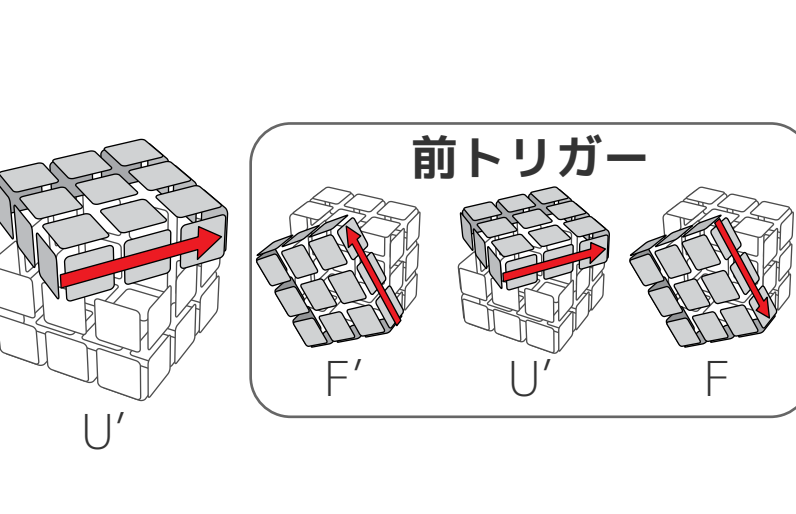
目標スロットがどこなのかは、もう説明しなくてもわかりますね。



スタート

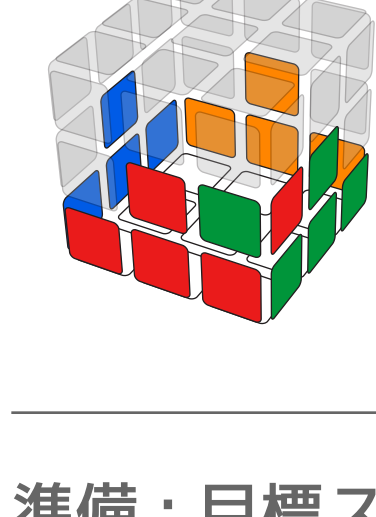


右トリガー



前トリガー

一体どんな失敗が起こるのでしょうか。さっそく結果を見てみましょう。



このようになってしまいます。入るべきところに入ってはいますが、向きがおかしいですね。

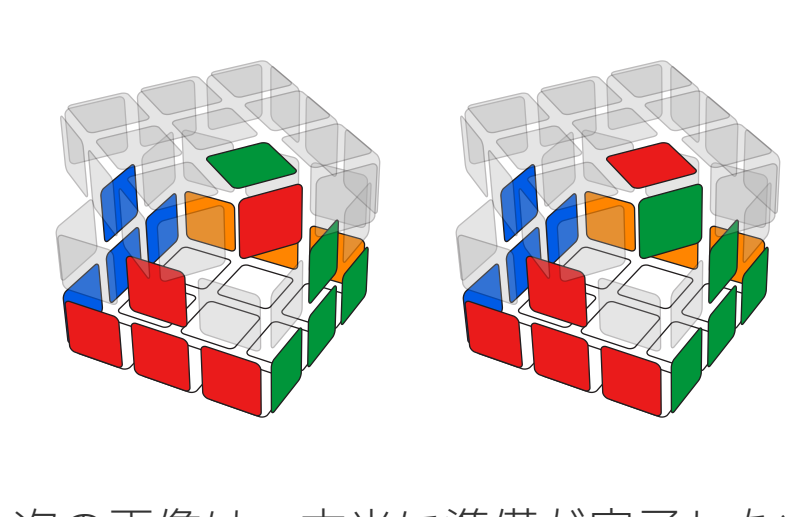
これは、使う手順のバリエーションを間違えたためです。

どうということなのか、次項で説明しましょう。

準備 : 目標スロットの真上 ...?

ターゲットを目標スロットの真上に。このフレーズは、完全一面を作るステップで紹介しました。

今回もそうしてみましょう。



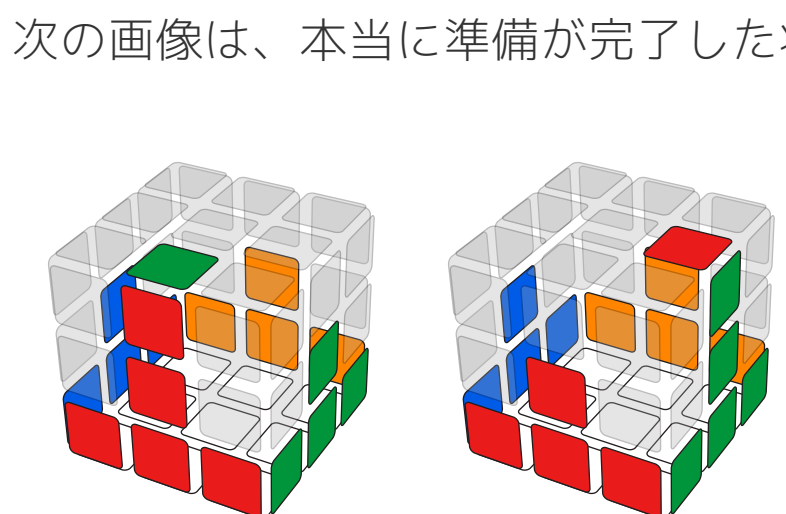
間違いなく真上です。しかしこれではどうしようもありません。

なぜ 2 枚の画像を用意したのか、皆さんならもうお分かりでしょう。

そうです。2 色パーツの向きが違います。

このことが、手順のバリエーションに関係していそうですね。

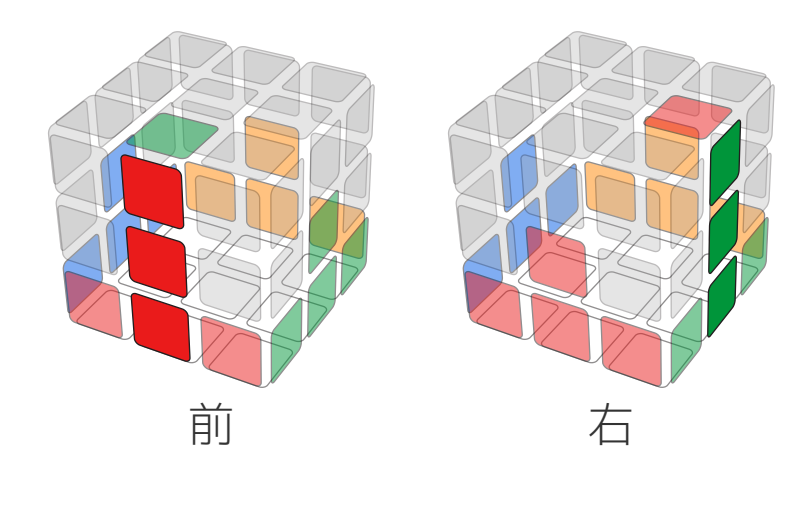
次の画像は、本当に準備が完了した状態です。



前 右

赤 - 緑の 2 色パーツが、前面と右面にわかれまして。

この根拠はなんでしょうか。



前 右

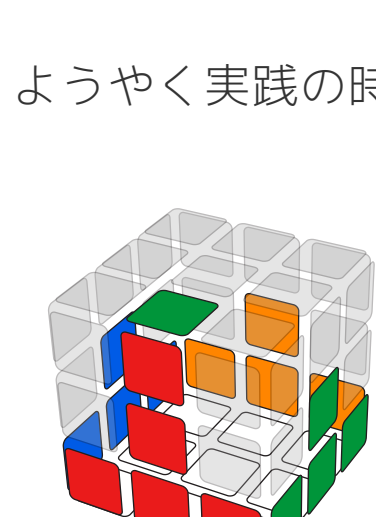
根拠を強調してみました。センターを目印に使ったのですね。

ターゲットから 1 段目まで、側面の色が揃っていれば正解です。

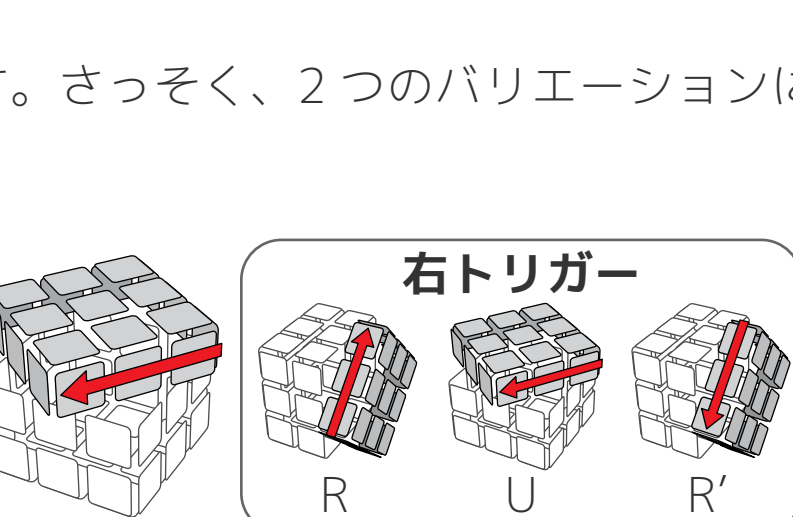
初期位置が間違っていると、前にお見せしたような失敗が起こります。

実践

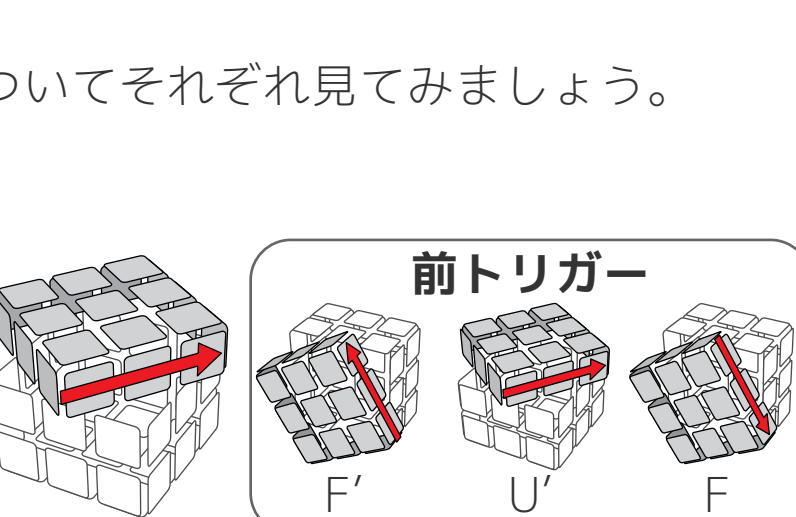
ようやく実践の時間です。さっそく、2 つのバリエーションについてそれぞれ見てみましょう。



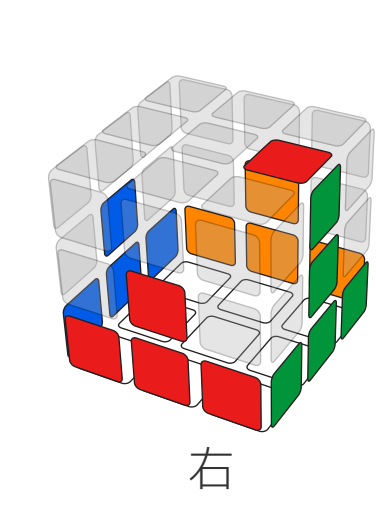
前



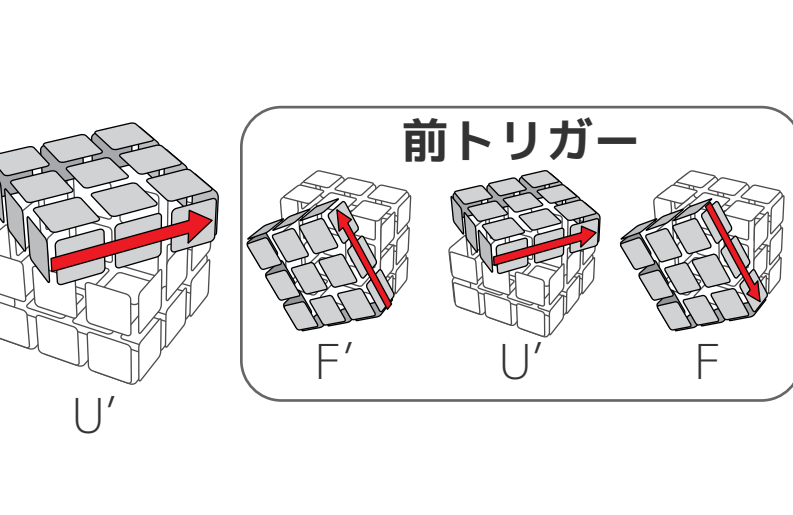
右トリガー



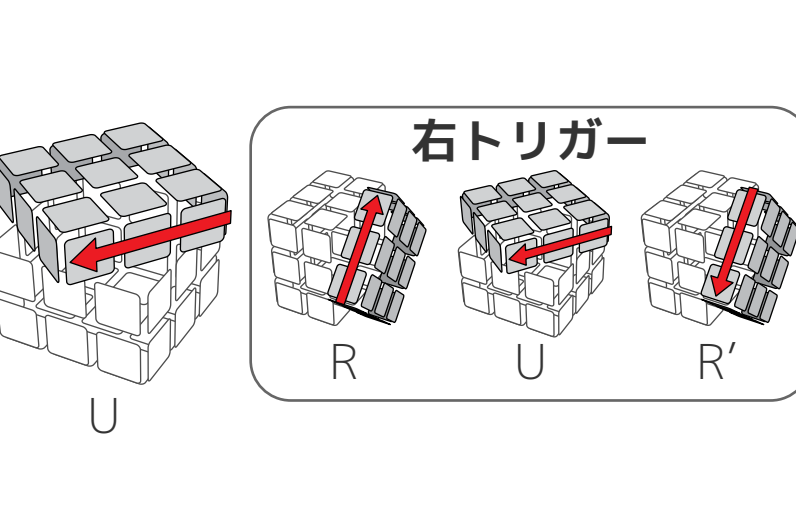
前トリガー



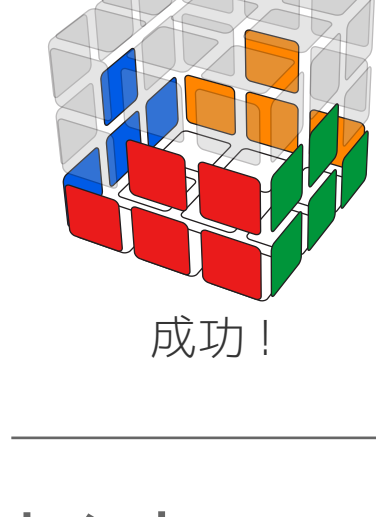
右



前トリガー



右トリガー



成功！

うまく行ったでしょうか。このように赤 - 緑の 2 色パーツが入っていれば成功です。

もちろん、最初のターゲットは別の色でも構いません。

この作業を 4 回繰り返せば、2 段目が完成することになります。

ヒント

- ・ **ターゲットが 2 段目に落ちていたら**
- ・ **最初の 1 手はターゲットが見えなくなる向きに**
- ・ **黄色を含む 2 色パーツは無視する**

このような場合、どうでもいい 2 色パーツをここに落としてみましょう。

そうすればこの赤 - 緑はどこかへ出ることになりますね。

必ず 3 段目に出るので、今度はそれを正しい向きで、正しい位置に入れましょう。

2 つのバリエーションがあるので、最も頻繁に起こるミスは、手順を選び間違えることです。

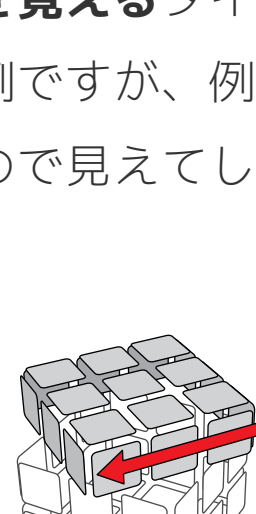
皆さんは**手で手順を覚える**タイプのキュービストになっているはずなので、最初の 1 手が大切です。

これは覚え方の一例ですが、例えば、最初の 1 手によって、ターゲットは見えなくなります。

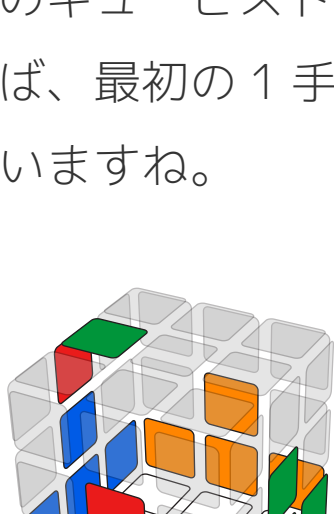
イラストは透明なので見えてしまいますね。



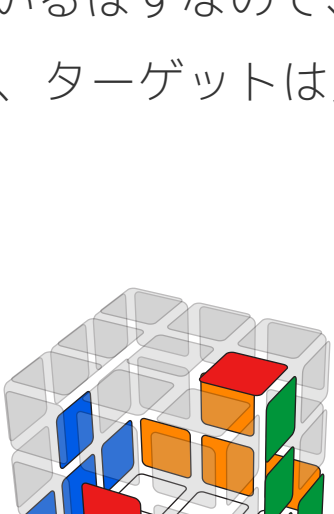
前



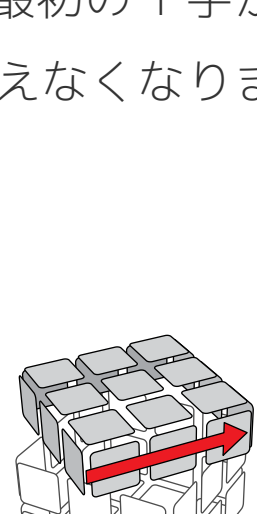
U



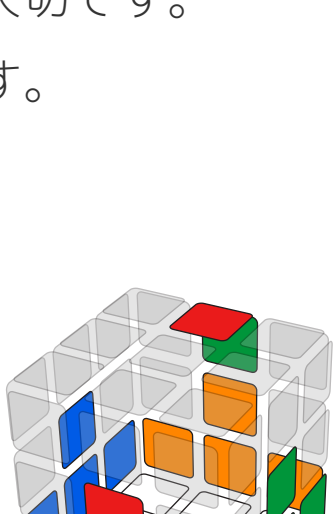
見えなくなる



右



U'



見えなくなる

黄色を含むということは、3 段目のパーツだということです。

ですので、今は**どうでもいいパーツ**ということになります。

このことを意識すると、ターゲットを探すのが少し楽になるでしょう。

次は

ルービックキューブの 2 段目までが完成しました。次はエッジ OLL について学びます。